

科目名：日本学メソドロジー基盤 A／ Basic Methods in Japanese Studies A

曜日・講時：後期 月曜日 1 講時 文学研究科棟 3F 視聴覚教室

セメスター：2 学期， 単位数：2

担当教員：尾崎 彰宏（教授）

使用言語：日本語

1. 授業題目：

東北大発の新領域「日本学」の創成と展開に向けて

2. Course Title(授業題目)：

Toward the New Field “Japanese Studies” from Tohoku University

3. 授業の目的と概要：

今日、総じて人文社会科学に対する風あたりは厳しい状況にあります。しかし、それをネガティブにとらえる必要は必ずしもありません。それだけ人文社会科学に対する期待が大きいのだと受けとめることができます。本授業では、新たな研究領域としての「日本学」の構築と展開を目指します。「日本学」は、現代の課題に対して領域横断的に応答するスタンスをもち、従来の日本研究と重なり合う部分がある一方で、西洋の知の方法や概念を積極的に取り入れることによって成立する新しい枠組みです。授業では、「SDGs」を切り口としたサンプル研究をもとに、「日本学」とは何か、それはいかにして形成されるのかについて考察します。その過程で、方法論（メソドロジー）に関する検討——とくに比較・構造・歴史・実践・概念の運用といった視点——を重視します。受講者には、自らテーマを設定し、その分析と議論を通じて、新たな知見を形成する力を養ってもらいます。

4. 学習の到達目標：

- 「日本学」という新領域について、その射程と方法を理解し、自分の力で考えられるようになります。
- 領域横断的かつ方法論的な観点から、現代の課題に即したテーマ設定と分析ができるようになります。
- 他者との議論を通じて、学際的な視野と批判的思考力を深めていきます。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

- 第1回：ガイダンス——「日本学」とは何か／方法論の射程について
- 第2～4回：SDGsを起点とした日本学のサンプル研究（具体事例の紹介と分析）
- 第5～6回：方法論の考察（比較・視座・概念操作・歴史性など）
- 第7～10回：テーマ設定とレポート構想の共有（個別指導を含みます）
- 第11～14回：受講者による口頭発表と相互ディスカッション
- 第15回：総括——日本学の展望と可能性について

※進度は受講者の人数や進捗に応じて調整します。詳細は初回講義時に説明します。

6. 成績評価方法：

- テーマ設定に基づくレポート作成（40％）
- レポートに基づく口頭発表（40％）

- 授業内でのディスカッション等への積極的参加（20%）

7. 教科書および参考書：

教科書は指定しません。参考文献は授業内で随時紹介します。

8. 授業時間外学習：

参考文献の読解、レポートの調査・構想・執筆、発表準備（プレゼン構成や口頭表現の練習など）を行っていただきます。かなりの学習時間が必要となりますが、それだけの学びと成果が得られる授業です。

9. その他：

初回授業は10月6日に行います。

履修登録は以下のGoogle フォームより10月31日(金)までに登録し、クラスルームに参加してください。

<https://forms.gle/tBQuqE7FLXUV8NiW7>

Google Classroom クラスコード：ccrj37h3